



2024年度 北陸学院大学 出張講座一覧

分野	No.	講座名	概要	キーワード	講師	対象	定員	使用機材等
教育	1	アンサンブルで感じようー音でつながる心と心ー	自分の身体や楽器を使って、仲間とのアンサンブルに挑戦します。さて、音を合わせるためにはどうすればよいのでしょうか。心と心を通わせ、その時、その仲間と共に生み出す特別な音楽を感じてみましょう。	音楽 アンサンブル 楽器	武田 恵美 (教育学部 講師)	幼児から大人まで	10名以上 20名程度	プロジェクター、スクリーン、 ホワイトボード、CDプレーヤー、 長机、楽器(打楽器・鍵盤楽器)
	2	グループディスカッションのすすめーみんなで楽しくー	私たちは様々な場面で協働作業を行います。しかし、全員が一生涯作業をしているのに成果が得られない時がありませんか？本講座ではメンバー全員の力を引き出しながら、グループワークでより良い成果を得るためのコツを実践を交えて紹介いたします。	グループディスカッション 役割分担 傾聴	富岡 和久 (社会学部 教授)	中学生 高校生 一般	10名~40 名程度 (応相談)	プロジェクター、スクリーンある いは大型モニター パソコン持参(ケーブルは HDMI/VGAいずれも可)
	3	科学的思考力を育成する理科授業とは	科学的思考力の育成は、理科教育における重要な課題です。本講座では、子どもがどのように科学的思考力を身に付けていくかについて、小学校での授業実践例を紹介しながら説明します。	科学的思考力 小学校 理科授業	川真田 早苗 (教育学部 教授)	小学校教諭 小学生の保護者	20名	プロジェクター、スクリーン (パソコン持参)
	4	絵本のページをめくってみよう！ー絵本があなたに気付かせてくれることー	絵本は「自分(あなた)を映し出す鏡」と言われます。絵本をじっくりと見つめ、一緒に絵本の不思議に触れてみませんか。絵本のページをめくると、そこにはきっとあなたの思いが見えるはず！	絵本 効果 読み合い	高村 真希 (教育学部 講師)	一般	20名	パソコン、プロジェクター、スクリーン
	5	子どもの世界は「物語」	子どもは、同じ空間にいても、実は一人ひとり異なる世界、それぞれの「物語」の中に生きています。絵本に見られる子どもの姿、園や学校におけるくらしの中の姿をもとに、子どもの世界の面白さや内面理解の視点、大人の関わり方について考えてみましょう。	子どもの世界 一人ひとりの文脈 内面理解	福江 厚啓 (教育学部 准教授)	一般 (保幼小保護者等) 教育関係者	40名	プロジェクター、スクリーン (パソコン持参 VGA、HDMI可)
	6	子どももおとなも心が動くとき！	なぜ子どもの育ちに自然環境が必要な？子どもたちは自然と対話し、多様に関わりながら何を学んでいるのでしょうか？つい安全管理ばかりに陥りがちな乳幼児の戸外遊びの姿から「子どもを見守る」本当の意味について一緒に考えていきたいと思えます。	自然環境 乳幼児 対話	谷 昌代 (教育学部 講師)	一般(乳幼児保護者・子どもの育ちに関心のある方) 保育者	20名	パソコン・プロジェクター・スクリーン
	7	保育の探求と省察：プロジェクトアプローチ、ドキュメンテーションを通して	プロジェクトアプローチとドキュメンテーションについて、海外の事例を交えて紹介いたします。子どもたちがトピックを深く探求する学びの方法や、保育実践を効果的に記録し共有するための様々な媒体について一緒に学んでみませんか？	保育 プロジェクトアプローチ ドキュメンテーション	ポーター 倫子 (教育学部 教授)	保育者 小学校教員 保育・教育に関心のある方	40名	プロジェクター、スクリーン、 ホワイトボード
	8	幼児期の子どもに育てておきたいこと	時期を逃せば後で身に付きにくい、けれど、身に付けておけば幸せにつながると思われる力がある。その力とは一体何か。一緒に紐解きながら、よりよい子育てのあり方について考えていきます。	幼児期 子育て 幼児期の終わりにまで育ててほしい姿	虫明 淑子 (教育学部 教授)	就学前の子どもをもつ保護者の方	12名	パソコン、プロジェクター、スクリーン
言語と文化	9	オノマトペ(擬音語、擬態語)を楽しむ	私たちが知らず知らずのうちによく使っているオノマトペ(擬音語、擬態語)。今回は、定型化されたオノマトペではなく、子どもが成長過程の中で発するオノマトペについて、これまでの研究を踏まえて考えます。	オノマトペ (擬音語、擬態語) 子どもの育ち 子どもの言葉	中島 賢介 (教育学部 教授)	一般 保育者 教育者	20名	パソコン、プロジェクター、スクリーン
	10	俳句の授業を考える	「主体的・対話的で深い学び」が求められる中、小中学校における俳句の授業は、多くの可能性をもっています。小中学校国語科の実践事例を中心に現状を知り、児童生徒の学ぶ俳句を体験しながら、俳句の授業の可能性を一緒に考えてみませんか。	俳句の授業 国語教育 深い学び	石上 佐知子 (教育学部 准教授)	一般(俳句の授業に興味がある方) 小中学校教員	30名	パソコン、プロジェクター、スクリーン
	11	ことばから見えてくる心ー日本語と英語を例にー	日本語と英語では、ものの捉え方・表現のしかたが異なるものも共通するものもあります。日英語それぞれから見えてくる心の働き、さらに文化についても考えてみましょう。	ことば ものの捉え方 英語と日本語	宮浦 国江 (教育学部 教授)	一般(ことば、英語に関心のある方)	30名	パソコン(mac持参)、プロジェクター、スクリーン
	12	ソーシャルメディアで学ぶ英語と異文化	情報化社会において、異文化体験がますます身近になりました。英語は世界共通語としての役割を果たします。英語をツールとして活用しながら、ソーシャルメディアを題材に異文化コミュニケーションを学びましょう。	英語 ソーシャルメディア 異文化コミュニケーション	木村 ゆかり (社会学部 助教)	小学生 中学生 高校生 一般	40名	パソコン、プロジェクター、スクリーン
	13	クリエイティブダンス(創作ダンス)のすすめ	ダンスに特別な技能や技術は必要ありません。特別な場所や道具も必要ありません。身体を動かせば、もうそれはダンスです。難しく考えず踊ってみましょう！	ダンス 身体表現 創作	田邊 圭子 (教育学部 教授)	一般	20名	ピンマイク、音響
	14	観光学入門	観光の基礎知識として、観光の概念、観光資源、観光産業について解説します。そして、観光者に対し石川県のどこが魅力か、アピールすべきかについて、一緒に考えます。	観光 石川県 地域資源	沢田 史子 (社会学部 教授)	一般	40名	パソコン、プロジェクター、スクリーン
	15	観光地・金沢の魅力を伝えるーガイドの力ー	「観光立国」を目指す日本の人気の観光地の一つとなった金沢。その魅力を伝えるために欠かせない存在であるガイドに必要な力は何なのか？知識、ホスピタリティ、行程管理など多様な視点から魅力的なガイドの条件を考えましょう。	観光 ガイド ホスピタリティ	蓋名 理恵 (社会学部 助教)	一般 観光関連の方	40名	パソコン、プロジェクター、スクリーン、 ホワイトボード
社会	16	災害ボランティアと市民社会	災害発生直後から復旧・復興に至るさまざまな場面で、ボランティアは欠かせない存在となっています。この講義では、大学による国内外の被災地支援活動を事例に、ボランティアの社会的役割について考えます。	共助 復興の個性	田中 純一 (社会学部 教授)	中学生 高校生 一般	40名	プロジェクター、スクリーン
	17	イギリス社会保障の歴史ーエリザベス救貧法を中心にー	16世紀に誕生し、その後世界の社会保障(雇用、医療、介護そして教育等々)に大きな影響を与えたイギリスのエリザベス救貧法について、社会経済史という視点から分析解説していきます。	イギリス経済史 社会史 社会保障	井上 克洋 (社会学部 准教授)	高校生 一般	40名	プロジェクター、スクリーン
	18	なぜ有権者は選挙で投票するのか:石川県の選挙を事例に考える	なぜ有権者は選挙で投票するのでしょうか。この講座では、日本の有権者の投票参加が低下している要因について、近年の政治・社会状況をふまえながら石川県の選挙データの分析から考察します。	政治 選挙 投票参加	若山 将実 (社会学部 教授)	一般	40名	パソコン、プロジェクター、スクリーン
	19	ポップ・カルチャーからメディア社会を考える	現代の日本社会の中でマンガ、アニメ、ゲーム、音楽といったポップ・カルチャーはどのように生み出され、楽しまれているのでしょうか。そのメカニズムをソーシャルメディアやマスメディアとの関係から考えていきます。	ポップ・カルチャー ソーシャルメディア 社会学	内田 啓太郎 (社会学部 准教授)	高校生 一般	40名	プロジェクター、スクリーン
	20	顧客満足のためのインターナル・マーケティング	顧客満足のためには良いサービスを提供する必要があり、良いサービスを提供するためにはサービスを提供する従業員の満足度を向上させていく必要があります。ここでは、従業員を内部顧客とする視点について解説します。	顧客 満足 従業員	平岩 英治 (社会学部 准教授)	一般	40名	パソコン、プロジェクター、スクリーン、 HDMIケーブル
	21	多様な人々が共に暮らす地域コミュニティづくり	文化的背景や価値観の異なる人々が共に暮らすことができる地域コミュニティの構築について、日本に居住している約320万人の外国人住民と日本人住民との関わりを事例として考えます。	地域コミュニティ 外国人住民	依 希實 (社会学部 教授)	一般	40名	プロジェクター、スクリーン

分野	No.	講座名	概要	キーワード	講師	対象	定員	使用機材等
「情報」	22	サイバーセキュリティの仕事あれこれ	皆さんが安心してコンピュータやインターネットを使うために、サイバーセキュリティに関する仕事がたくさんあります。情報社会になればなるほどサイバーセキュリティが重要になります。どんな仕事があるのか子供向け『仕事ファイル』をもとに紹介します。	サイバーセキュリティの仕事 今ある仕事 将来の仕事	村井 万寿夫 (教育学部 教授)	小学校高学年 中学生	40名	プロジェクター、スクリーン
	23	安全に楽しむために知っておきたいSNSの怖さと魅力	スマートフォン所有率の増加と同時に、SNS利用によるトラブルが多く聞かれるようになってきました。便利なはずの道具が、トラブルを引き寄せることもあります。例を取り上げ、利用する上での注意点を紹介します。	SNS リスク マナー	池村 努 (社会学部 教授)	小学生 中学生 高校生 一般	40名 (応相談)	プロジェクター、スクリーン
	24	情報の裏側を考える	現代社会は情報が溢れかえっています。氾濫する情報で溺れないためにも情報リテラシーの涵養が重要な課題です。そこで、普段触れる情報を様々な観点から見直してみたいと思います。	情報 情報リテラシー	若杉 亮平 (社会学部 准教授)	一般	30名	プロジェクター (HDMI)、スクリーン
「食生活」	25	「じわもん」ってなんや？—地産地消と郷土料理—	国内だけではなく、世界中の食べ物を手に入れることができるなか、地域の食材が注目されています。一方、「和食」が世界無形文化遺産に登録され、伝統的な食への関心も高まっています。ここでは、いしかわの食材や郷土料理を取り上げます。	食文化 地場産物 郷土料理	健康科学部 教員	一般	40名	パソコン、プロジェクター、スクリーン
	26	食生活と健康づくり	健康づくりには、「栄養」「運動」「休養」の3つのバランスが大切ですが、中でも、栄養(食生活)が基本となります。今、食に関する問題が多く提起されている中で新しい話題を取り上げながら、日々の食生活について考えます。	生活リズム 時間栄養学	健康科学部 教員	一般	40名	パソコン、プロジェクター、スクリーン
	27	生活リズムに適した食事を考えよう!	現代の食生活について、とくに若い世代の朝食欠食が目立ちます。「食欲がない」など食べられない理由と時間栄養学の考え方には密接な関係があります。講座では、自分の生活リズムを知り、それに適した食事を考えてみましょう。	健康的な食事 野菜の摂取量	田中 弘美 (健康科学部 教授)	一般 (学生含む)	50名程度	プロジェクター、スクリーン
「福祉・心理」	28	ケアが変わる記録の方法	「記録に自信がない」「書きたいことがまとまらない」等、ケアに携わる方からよく聞かれる言葉です。この講座では、ケアの経過記録を中心に、適切な記録の書き方について学んでいきます。記録を書く力を高め、ケアの質の向上に繋がっていただければ幸いです。	ケアの質 記録	真砂 良則 (社会学部 教授)	福祉現場に従事する方	30名	パソコン、プロジェクター、スクリーン、ホワイトボード
	29	ヤングケアラー支援を考える	ヤングケアラーとは「家族にケアを要する人がいる場合に、大人が担うようなケア責任を引き受け、家事や家族の世話、介護、感情面のサポートなどを行っている18歳未満の子」と定義されます。本講座では、ヤングケアラー支援のあり方について考えます。	ヤングケアラー(子どもケアラー) 若者ケアラー きょうだい児(きょうだい)	松本 理沙 (教育学部 准教授)	中学生 高校生 一般	20名	プロジェクター、スクリーン (パソコン持参 HDMI可)
	30	共生社会のことを知ろう	いま社会では、障害のあるなしに関係なく、お互いを尊重し、理解し合いながら共に生きていく「共生社会」の実現に向けた様々な取り組みが行われています。また、関連して「こころのバリアフリー」という考え方もあります。これらを正しく理解するとともに、見落としがちな大切なことを考えます。	共生社会 こころのバリアフリー	田引 俊和 (社会学部 教授)	高校生 一般	40名	パソコン、プロジェクター、スクリーン
	31	協力するか否か、それが問題	進化生物学では、協力は自らの適応度を下げても相手の適応度を上げる行為と定義されています。利己的な個体の方が生き残りやすいにもかかわらず、ヒトが誰かの為に額に汗して協力するのは何故なのか。本講座ではヒトの協力行動の仕組みについてお話しします。	社会心理学 進化心理学 社会的ジレンマ	松尾 藍 (社会学部 講師)	一般	40名	パソコン、プロジェクター、スクリーン
	32	人間のモラルと社会	性善説や性悪説など、人が道徳的であるかどうかは広く議論されてきました。この講座では、最新の道徳心理学の知見から、人間社会の傾向、人間の道徳・倫理観について考えます。	道徳性 利他行動 共感	加藤 仁 (社会学部 准教授)	高校生 一般	40名	プロジェクター、スクリーン、スピーカー
	33	相手の話を聴く上で大切なことは?	私たちが日常の人間関係において相手の話をよく聴くことは、人間関係を円滑していく上で大切なことだと思います。普段の自分の話の聴き方について振り返り、よりよい話の聴き方(傾聴)において大切なことを考えてみたいと思います。	傾聴 カウンセリングマインド 話の聴き方	齊藤 英俊 (教育学部 准教授)	高校生 一般	40名	パソコン、プロジェクター、スクリーン
	34	氷河期世代の殺人と苦悩	近年、就職氷河期世代(1970年代~80年代前半生まれ)の男性による殺人事件が目立ちます。本講座ではそれらの氷河期世代による殺人事件から、彼らが抱えている苦悩について考えます。	氷河期世代 殺人 苦悩	赤羽 由起夫 (社会学部 准教授)	高校生 一般	40名	プロジェクター、スクリーン
35	保育者のためのストレスマネジメント	保育業務での人間関係の不安や問題を抱えるとストレスになります。ストレスは限界点を超えると心身に不調が生じます。講座では教育カウンセリングによる保育者のためのストレスマネジメントの習得を目指します。	ストレスマネジメント 教育カウンセリング 保育者	崎浜 聡 (教育学部 准教授)	保育現場に従事する方	20名	パソコン、プロジェクター、スクリーン、HDMIケーブル、マット(仰向けになれる)または安楽椅子	

*使用機材等については、ご要望に応じて調整いたします。

出張講座について

北陸学院大学では地域貢献事業の一環として、出張講座を行っています。

上記一覧に記載の講座について、定員以内の講座は無料で実施しております。講師謝礼・交通費などの諸費用は本学が負担します。※石川県内のみ

定員以上での実施をご希望の場合や石川県外の場合は「講演会」となりますので、講師謝礼・交通費をご負担ください。(金額は任意) 講座内容については講師とご相談ください。

こども園・保育園・幼稚園・小学校・中学校・高等学校の保護者向けの講座や、職員研修、また小学生・中学生・高校生向けの講座として、ぜひご利用ください。

お申込み方法・流れ

1. 北陸学院大学ホームページ「地域教育開発センター」内、「出張講座」にある「出張講座申込書」(Excel)に必要事項をご記入の上、メールに添付してお申込みください。

Email: redec@hokurikugakuin.ac.jp

2. 申込受付後、講師と日程調整の上、ご連絡いたします。※講師によっては、送迎をお願いする場合があります。

3. 講座開催決定後、代表者名で北陸学院大学学長宛に依頼文書(様式は任意)をご提出ください。

4. 講師との事前打ち合わせ等が必要な場合はご連絡ください。

5. 講座実施日は、機材等の準備をお願いいたします。

※当日アンケートを持参いたしますので、ご協力をお願いいたします。回収後、ご返送ください。(恐れ入りますが、郵送料はご負担下さい。)

*「講演会」をご希望の場合は「出張講座申込書」の提出は不要です。TEL: 076-280-3850(代表)までご連絡いただき、講師と直接お話しください。

●講座開催決定後、やむを得ない理由によりキャンセルされる場合は、原則講座開催日の一週間前までにご連絡ください。

< お問い合わせ >



北陸学院大学

地域教育開発センター

〒920-1396 石川県金沢市三小牛町イ11

TEL: 076-280-3856